

科目名	経営戦略特論 Special Course in Management Strategy		選択	2 単位
学期・曜日・時限	秋・土・集中※	-	-	-
担当教員名	東瀬 朗	e-mail		
<p>&lt;講義の概要と目的&gt;</p> <p>企業及び組織の経営において、経営戦略の役割と機能を理解することは必須である。本講義では経営戦略に関する理論体系及び実例の理解を深化させるため、経営戦略に関連する複数の手法について、演習・討議を交えながら概説を行う。また、社会的責任（CSR）・Creating Shared Value（CSV）など、経営戦略上今後取り入れる事が望ましい分野についても取り扱う。</p>				
<p>&lt;講義計画&gt;</p> <p><b>第1・2回 経営戦略の基本</b> 経営戦略の基本及び経営戦略が果たす役割について、いくつかの企業の実例を交えながら解説を行う。さらに、様々な経営戦略の内容について討議を行う。</p> <p><b>第3回 経営戦略論で使用する分析手法の概説</b> 経営戦略論においては、さまざまな分析手法が提供されている。内部環境分析・外部環境分析において活用可能な各種手法・フレームワークについて概説を行う。</p> <p><b>第4・5回 外部環境分析</b> 外部環境分析で活用可能な手法を用いて、事業環境及び収益要因の分析を演習及び討議を用いて行う。</p> <p><b>第6・7回 内部環境分析</b> 内部環境分析で活用可能な手法を用いて、事業環境及び収益要因の分析を演習及び討議を用いて行う。</p> <p><b>第8・9回 事業構造の分析手法</b> 事業の構造を理解するための手法として、CVCA（Customer Value Chain Analysis）の概説を行い、演習を通じて理解を深める。</p> <p><b>第10・11回 事業群のマネジメントとポートフォリオ戦略</b> 複数の事業を束ねた企業運営及び新事業創出に向けたポートフォリオ戦略について概説と討議を行う。</p> <p><b>第12・13回 未来を読む・将来を予測する</b> 戦略を立案する上で必要となる将来予測の手法について概説すると共に、討議を通じて理解を深める。</p> <p><b>第14・15回 社会的責任とCSV</b> 近年経営戦略を立案する上で社会的責任あるいは CSV(Creating Shared Value)などの視点を含めることが望まれている。社会的責任・CSVを統合した経営戦略について概説を行う。</p>				
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講師からの講義に加え、ケースを用いたケース討議、手法・フレームワークの理解を深めるためのグループ演習を行う。ケース討議は事前予習課題を課す。グループ演習は必要に応じて、事前予習・事前調査を課す場合がある。ケース討議及びグループ演習は、講義冒頭で講師より討議・演習の概要を説明した後、グループに分かれ議論・演習を行う。グループ討議・演習終了後、全体討議を行いグループ討議・演習の内容を共有する。グループ討議及び全体討議の時間配分については、講義内容に合わせ適時指示を行う。</p>				
<p>&lt;準備学習内容&gt;</p> <p>ケース討議を行う場合は事前予習課題を課す。その他必要な事前学習に関する詳細については別途講義内にて指示を行う。</p>				

<教科書及び教材>

別途指示を行う。

<参考書>

山根節著：戦略と組織を考える－MBAのための7ケース 中央経済社

山根節著：MBAエグゼクティブズ 中央経済社

伊丹 敬之・加護野 忠男著：ゼミナール 経営学入門 日本経済新聞社

文部科学省：イノベーション対話ツール

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/sangaku/1347910.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/1347910.htm)

<成績評価方法>

欠席6回以上は成績評価しない。

学期中課題3：最終レポート3：授業への貢献4の比率で評価を行う。

<履修条件> 特になし。

<DVDによる視聴> 可

<オフィスアワー> 非常勤講師のため事前に e-mail でアポイントメントを取ってください。

<その他>

講義内の討議を重視しますので、事前課題を十分に行い、議論への積極的な参加を期待します。

※ 10月13日(土) 2限、3限、4限

12月8日(土) 1限、2限、3限、4限

12月15日(土) 1限、2限、3限、4限

1月5日(土) 1限、2限、3限、4限